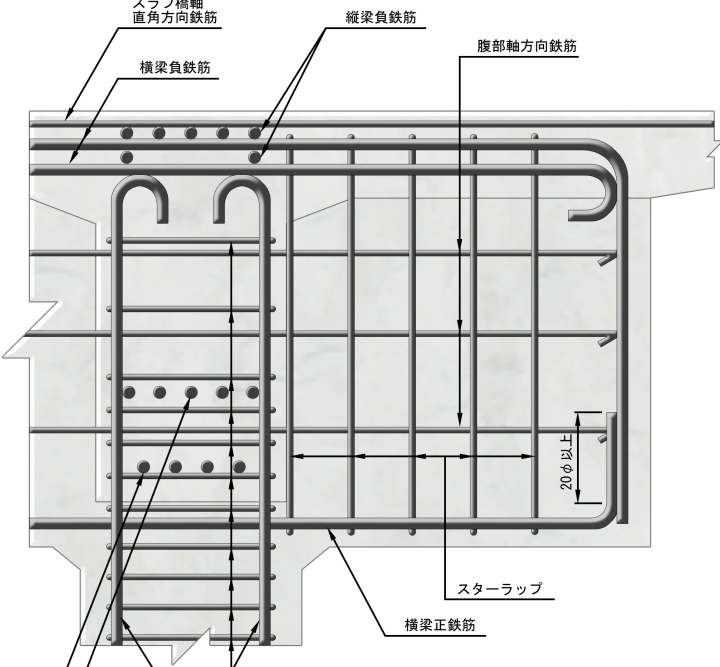


鉄道構造物等設計標準（コンクリート構造物）配筋の手引き（平成 16 年 11 月初版）正誤表

頁	章・節	誤	正
7	1.5(5)	1.5 倍	2 倍
23	1.8.2(10)	また、スパン 10m 以上の場合、 $l_{03} > 5$ 、スパンが 10m より小さい場合、 $l_{03} > 8$ 確保する。	また、スパン 10m 以下の場合、 $l_{04} \geq 5$ 、スパンが 10m より大きい場合、 $l_{04} \geq 8$ 確保する。
53	3.2.4 (注)4.	鉄筋の継手を相互にずらす距離は鉄筋の定着長さ以上とする。	鉄筋の継手を相互にずらす距離は鉄筋の継手長さに鉄筋径の 25 倍を加えた長さ以上とする。
56	3.3 (2)		<p>横梁の鉄筋配置図の例として以下の図を追加</p>  <p>図 3.3.4 横梁の鉄筋配置図</p>

74 5.2

桁受けの鉄筋配置図の例として以下の図を追加

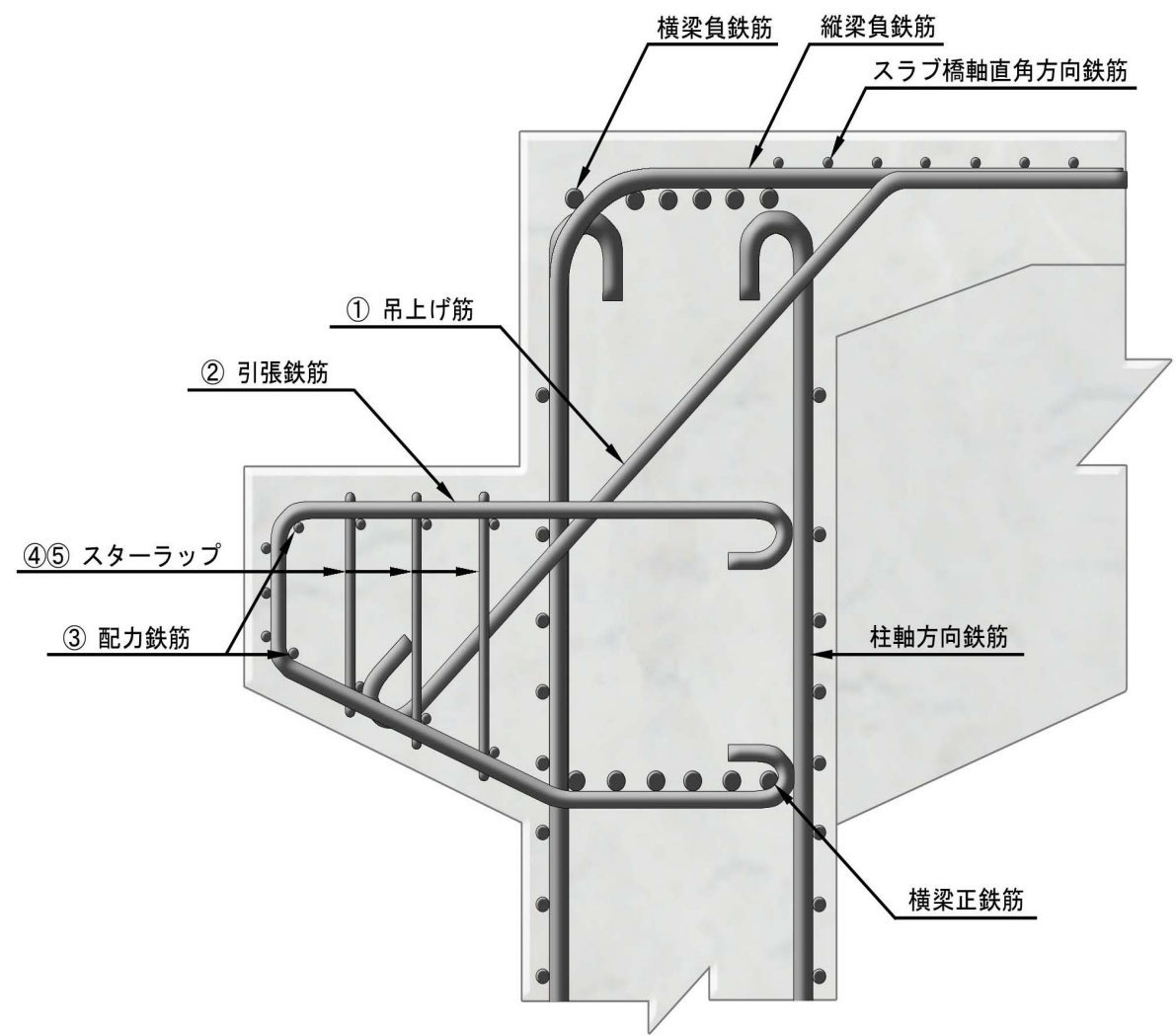
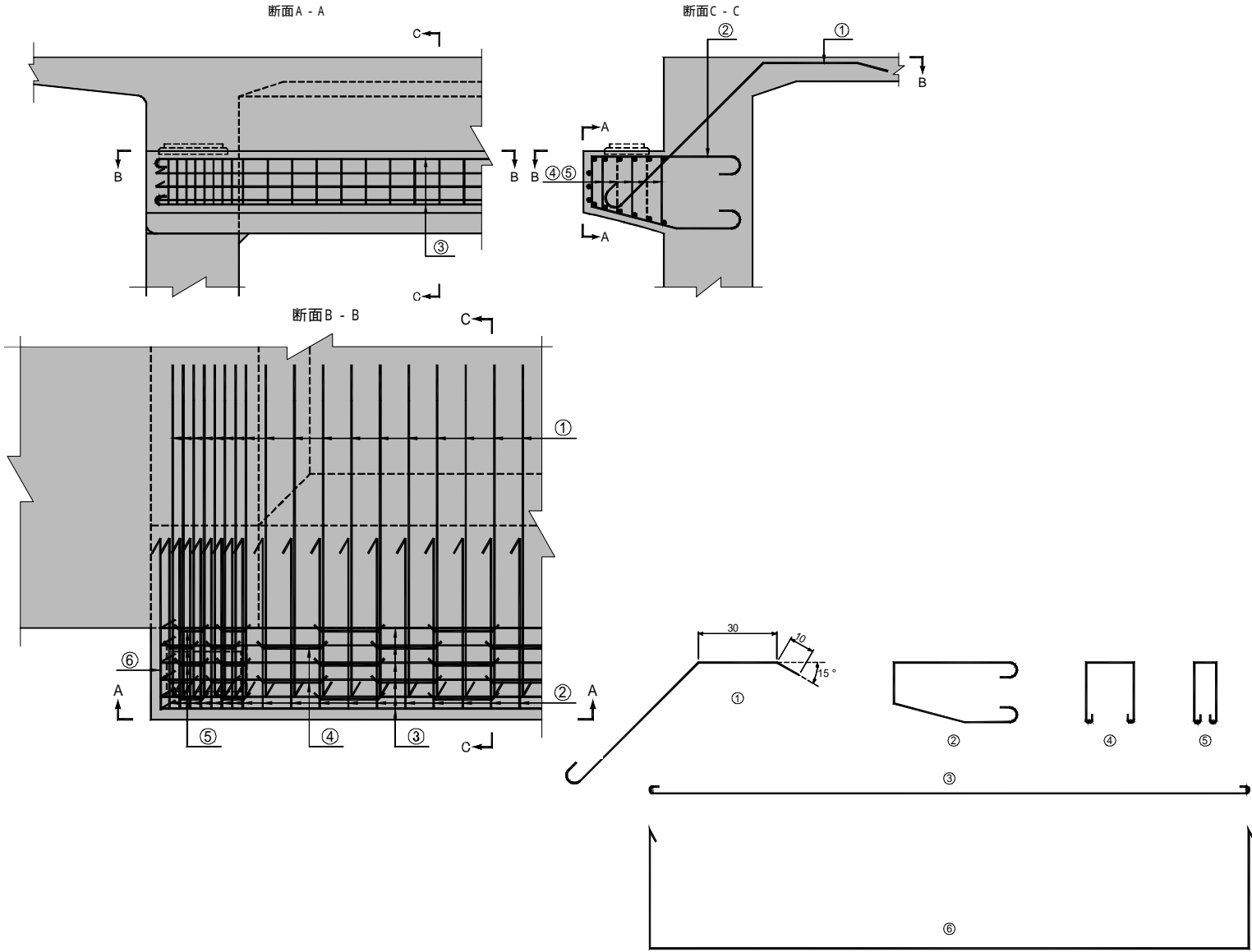
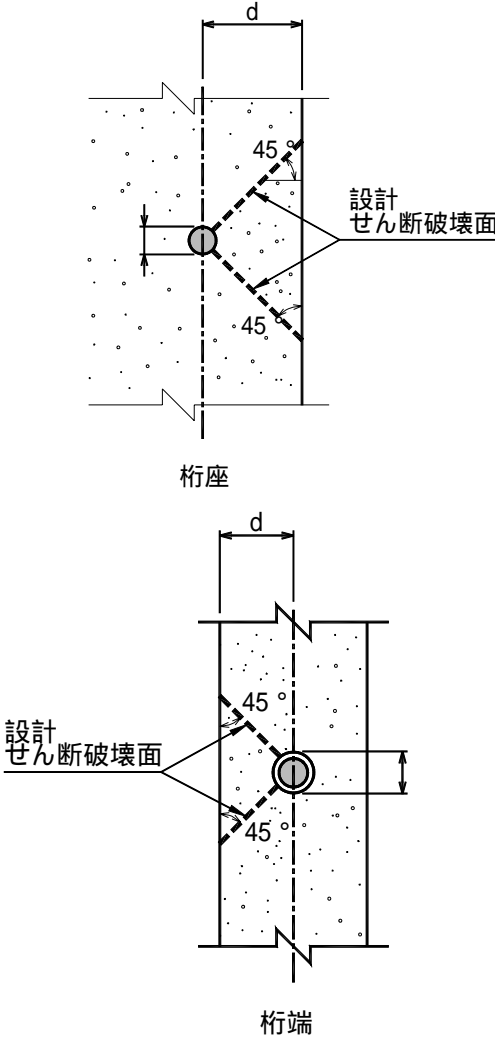
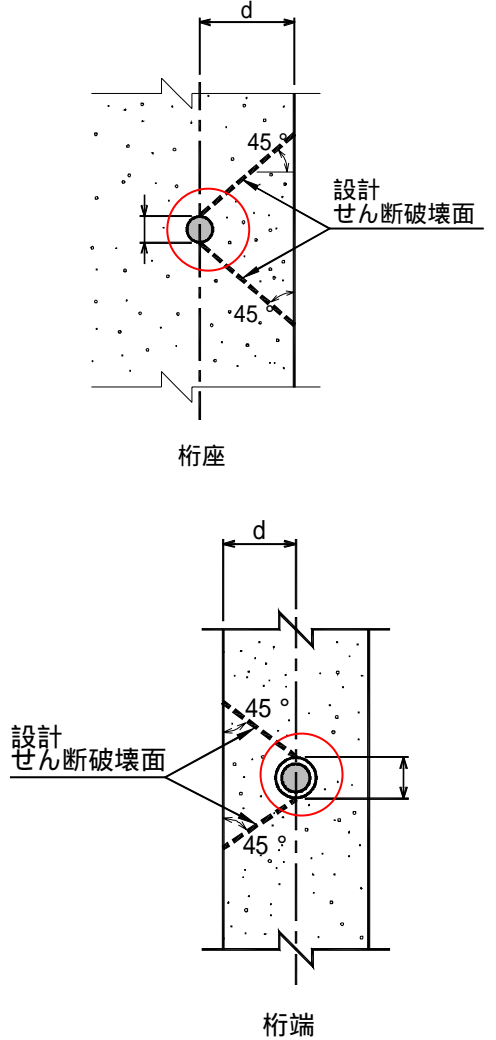


図 5.2.1 鉄筋配置図

桁受けの鉄筋配置図の例として以下の図を追加



5.2.2 鉄筋加工図

頁	章・節	誤	正
78	6.1.2	 <p data-bbox="694 1364 1008 1396">図 6.1.4 鋼棒ストッパー</p>	 <p data-bbox="1500 1364 1814 1396">図 6.1.4 鋼棒ストッパー</p>